

UTX 1.20簡易仕様書

目次

0.	この仕様書について	1
1.	UTXファイルの構造	2
2.	ヘッダー	3
3.	フィールド定義と本文	3

文書情報

著者：AAMT共有化・標準化ワーキンググループ：山本ゆうじ（秋桜舎）、秋元 圭（合同会社ことばや）

ウェブサイト：<http://www.aamt.info/japanese/utx/>

状態：正式版

更新日付：2019年3月19日

文書の言語：日本語

使用許諾：CC0 1.0

免責条項：<http://aamt.info/japanese/utx/index.htm#disclaimer>を参

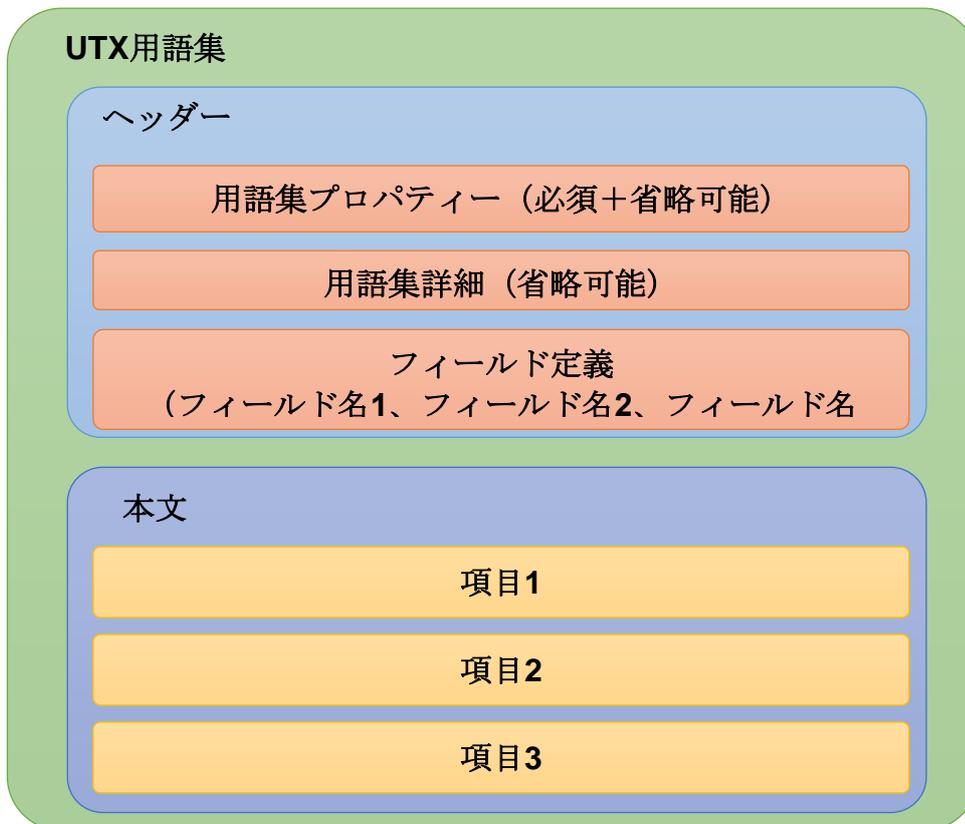
照

0. この仕様書について

この仕様書は、UTXファイルの作成に必要な最小限の情報を説明する。詳細は、正式仕様書を参照のこと。

1. UTXファイルの構造

以下の図は、UTX用語集の構造を示す。省略可能な要素については、正式仕様書を参照のこと。



1.1 最もシンプルなUTXの例

以下は、最小の必要情報を備えた完全なUTX用語集の例である。

#UTX 1.20	
#term:en	term:ja
test	テスト

1.2 ファイル形式の詳細

ファイル構造：タブ区切りテキスト

拡張子：".utx"

文字コード：UTF-8 (BOM付き)

改行コード："\\n" (CR+LF)。空行は認められない。

行コメント記号：#

2. ヘッダー

2.1 UTXヘッダーの構造

UTXヘッダー内のすべての行は、"**#**"から始まる。これは、UTXヘッダー内のすべての行がコメントアウト行として扱われることを示す。

UTXヘッダーは、用語集プロパティの1行、さらにフィールド定義の1行の、少なくとも2行の必須の行を含む。用語集プロパティの行は、2行以上記述できる。

用語集の詳細を説明する目的で、2行の必須の行の間に、1行または複数行の行を追加できる。

UTX **version**は、唯一の必須の用語集プロパティである。このプロパティは、用語集のUTXバージョンを示す。"**UTX**"、半角スペース、"**1.20**"で示す。

2.2 フィールド定義

UTXヘッダーの最後の行は、"**#**"で始まり、一連のフィールド定義（あるいは列定義）を含む。

3. フィールド定義と本文

UTX用語集の本文は、1行1項目の集合から構成される。行内では、各要素（表計算での「セル」）はタブ文字によって区切られる。

3.1 フィールドのための言語タグ

UTX用語集の内部で、言語を示す場合には、IETF BCP 47言語タグを使用する。これらは、HTMLとXMLで使用される言語タグと同じで、たとえば**ja**、**fr**、**en-US**、**zh-CN**、**zh-TW**である。
<<http://www.w3.org/International/articles/language-tags/Overview.en.php>>参照。

言語固有のフィールドは、言語タグによって示される。言語タグのコロンの後にはスペースを入れない。

3.2 term フィールド

termは、用語を示すフィールドである。これらのフィールドの言語は、言語タグによって示される。例については、以下の表を参照。

フィールド名	構文/フィールド項目/フィールド値	例		
term	term: <言語>	<table border="1"><tr><td>term:en</td><td>term:ja</td></tr></table>	term:en	term:ja
term:en	term:ja			

3.3 その他のフィールド

正式なUTX仕様には、その他の定義済みの省略可能なフィールドの完全なリストが含まれる。

定義済みのフィールドの他に、UTX用語集には、任意の数のユーザー定義フィールドおよびそれらのフィールド項目を追加できる。

言語固有のフィールドについては、その言語を示すために言語タグを使用する。

構文	例
ユーザー定義フィールド:<言語>	x-termUsage:en